

庄内町立図書館整備事業基本設計業務委託公募型プロポーザル審査講評

本プロポーザル選定委員会は、庄内町立図書館アドバイザー、庄内町立図書館長兼庄内町内藤秀因水彩画記念館長、山形県県土整備部建築住宅課営繕室長、庄内町副町長、庄内町教育長、庄内町総務課長、庄内町社会教育課長、庄内町建設課長の合計8名で構成され、本プロポーザル評価要領に基づき、厳正、公正かつ慎重な審査を行いました。

第二次審査においては、第一次審査の通過5者によるプレゼンテーション及びヒアリングを行い、採点評価を行いました。

採点結果を踏まえ審議を行ったところ、最高得点者と次点者との点差、また次点者と得点順位3位者との点差が明確であったことから、評価点に基づいて選定することの妥当性を確認し、シーラカンスケイアンドエイチ株式会社を最優秀者、有限会社マル・アーキテクチャを次点者として選定することとしました。

今回の提案は、いずれも事業計画や背景をご理解頂き、それぞれ独創的で質の高いものでありました。最終的には、図書館本来の目的や機能、新図書館と水彩画記念館とのつながりや、図書館の諸室及び空間計画、限られた職員数による運営管理における効率性や安全性の確保、将来の維持管理に関する点等が評価されたものです。

最後に、本プロポーザルに真摯に向き合われ、意欲的な技術提案をいただいた、参加者各位に対しお礼申し上げますとともに、心から感謝申し上げます。

令和元年9月2日

庄内町立図書館整備事業基本設計業務委託
公募型プロポーザル選定委員会
委員長（庄内町副町長） 阿 部 金 彦